

2024年6月26日

第122回 静岡県内企業経営者の景気見通し調査(2024年7~12月期 B. S. I.)

景況感は3期連続で改善

～製造業・非製造業ともにプラスだが、コスト高止まりが課題～

静岡経済研究所（理事長 馬瀬和人）では、5月中旬に実施した「静岡県内企業経営者の景気見通し調査」の結果をとりまとめましたので、ご案内します。

景気見通し

- 2024年下期（7～12月）のB. S. I.（業界景気見通し指数）は、「上昇」（27%）が「下降」（16%）を+11ポイント上回り、3期連続で景況感の改善を示す結果となった。
- コロナの5類移行から1年が経過し、観光産業を中心に需要の回復が期待されるが、原材料価格や物流費など、コストの高止まりが懸念される。また、各企業は人材確保のため賃上げなど処遇の改善を迫られており、経常利益は若干の改善にとどまる見通し。
- 業種別の業界景気見通しを前回調査と比較すると、製造業は+5ポイント、非製造業は+12ポイントと、ともに改善を見込む。
- 2025年上期（1～6月）は、「上昇」（18%）が「下降」（15%）を+3ポイント上回る結果となった。「下降」とみる企業の割合が24年下期から△1ポイント縮小するが、「上昇」とみる企業の割合が△9ポイントと大きく低下することで、B. S. I. はプラスながら1桁台にとどまる結果となった。

※本件のお問い合わせ先 担当（武内 友里恵）

〈7月の記者発表予告〉下記の調査について記者発表を予定しています

「2024年7～9月期 静岡県内主要産業四半期見通し調査」

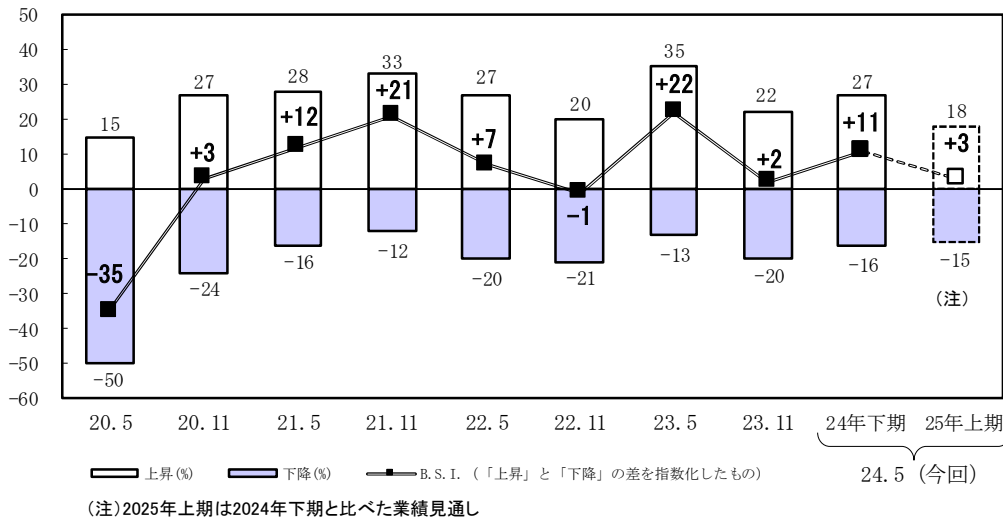
今月の定例調査

第122回 静岡県内企業経営者の景気見通し調査(2024年7～12月期B. S. I.)

景況感は3期連続で改善

～製造業・非製造業ともにプラスだが、コスト高止まりが課題～

図表1 業界景気見通し(B. S. I.)の推移



景気見通し(概況)

□B. S. I. は3期連続の改善、25年上期は判断が分かれる

2024年下期(7～12月)のB. S. I. (※)による業界景気見通しは、「上昇」(27%)が「下降」(16%)を+11ポイント上回り、3期連続の改善となった(図表1)。社会経済活動の正常化を背景に需要が回復し、売上の増加が見込まれるが、原材料価格や物流費などコストの高止まりが懸念される。また、各企業は人材確保のために賃上げへの対応を迫られており、経常利益は若干の改善にとどまる見通し。

「上昇」とみる企業の割合は、新型コロナウイルスが5類感染症に移行した2023年5月に35%と大きく上昇した後、前回調査(23年11月)では22%にとどまったが、今回はそこから+5ポイント上昇。一方で、「下降」とみる企業の割合が16%と、前回調査から△4ポイント縮小したことで、景気の見通しは一段と好転している。

2025年上期(1～6月)は、「上昇」(18%)が「下降」(15%)を+3ポイント上回る結果となった。「下降」とみる企業の割合が24年下期から△1ポイント縮小するものの、「上昇」とみる企業の割合が△9ポイントと大きく低下することで、B. S. I. はプラスながら1桁台にとどまった。

(※) B. S. I. (Business Survey Index) とは、「上昇」と「下降」の差を指数化したもの。次頁の「調査の要領」を参照。

業種別見通し

□下期は製造業、非製造業ともに改善見通し

2024年下期の業種ごとの業界景気見通しを前回調査と比べると、製造業（+3→+8）は+5ポイント、非製造業（+1→+13）は+12ポイントと、ともに改善を見込む（**図表2、3**）。

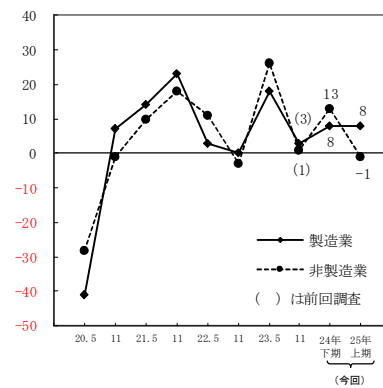
業種を詳細にみると、全18業種のうち、「上昇」が12業種、「下降」が6業種となった（**6頁付表**）。製造業では、「輸送用機械器具」（△22→+19）、「パルプ・紙・紙加工品」（△13→+12）が改善に転じたほか、「食料品」（+6→+19）、「金属製品」（+60→+11）、「電気機械器具」（+33→+12）などで改善が続く。非製造業では、「ガス業」（±0→△75）、「小売業」（△8→△6）で悪化判断となったが、「ホテル・旅館業」（△20→+50）、「運輸・通信業」（+10→+29）、「サービス業その他」（±0→+18）、「卸売業」（±0→+16）などで改善を見込む。

なお、2025年上期の見通しについては、製造業が+8ポイントと改善する一方、非製造業は△1ポイントとわずかながら悪化に転じる見通し。

図表2 業種別・規模別 B.S.I.

項目 業種別・ 規模別	回答 企業 数	業界景気 (単位:%)							
		2024年7~12月				2025年1~6月			
		上 昇	横 ばい	下 降	B S I	上 昇	横 ばい	下 降	B S I
全企業	282	27	57	16	11	18	67	15	3
大企業	26	17	61	22	△5	17	61	22	△5
中小企業	256	28	56	16	12	18	68	14	4
製造業	139	27	54	19	8	22	64	14	8
大企業	6	33	67	0	33	17	50	33	△16
中小企業	133	27	53	20	7	22	65	13	9
非製造業	143	27	59	14	13	15	69	16	△1
大企業	20	12	59	29	△17	18	64	18	0
中小企業	123	29	59	12	17	14	70	16	△2

図表3 業種別 B.S.I. の推移



注1) 本調査における中小企業とは、資本金3億円以下または従業員300人以下の企業（ただし卸売業では同1億円以下または同100人以下、小売業では同5,000万円以下または同50人以下、サービス業では同5,000万円以下または同100人以下）であり、それ以外を大企業とした。
注2) 「2024年7~12月」は「2024年1~6月」と、「2025年1~6月」は「2024年7~12月」と比較した見通しである。

調査の要領

- 調査目的：この調査は、当研究所が1963年より毎年2回実施しているもので、静岡県内企業経営者の自社の業績見通しをもとに、業界景気を調査することを目的としている。
- 調査対象：静岡県内に本社をおく主要企業。
- 調査方法：各企業に対するアンケート調査。
- 調査内容：①2024年上期（1~6月）に比べた2024年下期（7~12月）、および2024年下期に比べた2025年上期の自社の業績見通し
②2024年上期に比べた2024年下期の売上額、経常利益などの項目別見通し
③現在の企業経営上の問題点および今後重視する経営戦略
- 調査時点：2024年5月中旬
- 回答状況：調査対象企業753社のうち、有効回答がよせられた企業は282社で、有効回答率は37.5%である。

注) B.S.I. (Business Survey Index) とは、企業経営者の見通しを数字であらわしたものの。前期に比べて上昇とみる…x、横ばいとみる…y、下降とみる…zについて、 $x+y+z=100$ とした時、 $B.S.I.=2x+y-100=x-z$ と定義。全員が上昇とみればB.S.I.は+100、全員が下降とみるとB.S.I.は△100になる。上昇と判断する人が多ければ多いほど+100に近づき、下降とみる人が多ければ多いほど△100に近づき、上昇と下降が同数（全員が横ばいとみる場合も含む）の場合、B.S.I.は0となる。

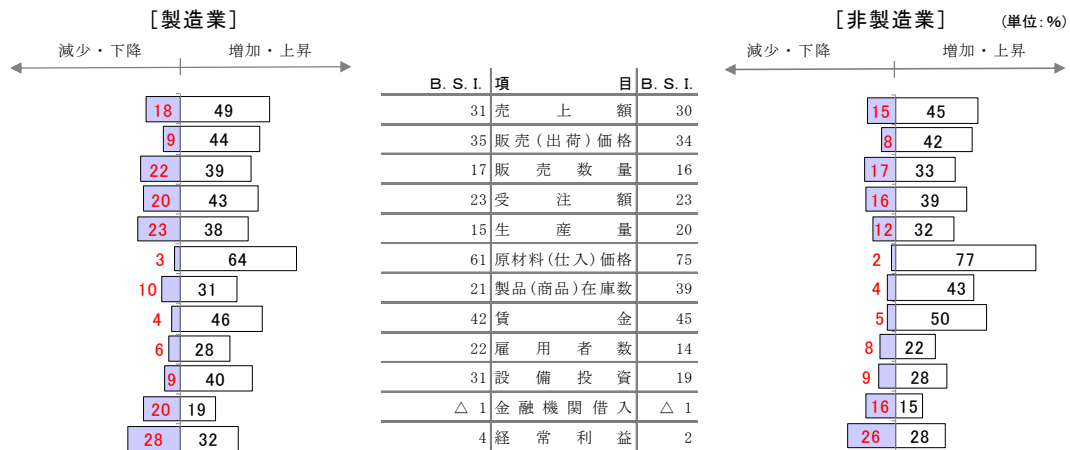
項目別見通し

売上高は増加見通したが、原材料価格や賃金の上昇が利益を圧迫

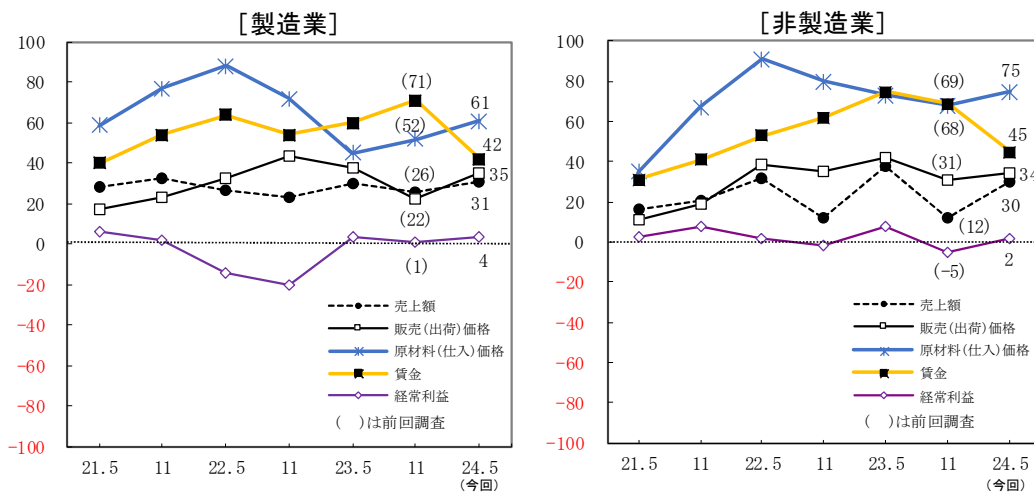
今後の見通しについて項目別に前回調査と比較すると、製造業では、「販売（出荷）価格」（+22→+35）の上昇や「販売数量」（+14→+17）の増加により、「売上額」（+26→+31）は引き続き増加が見込まれる。しかし、依然として「原材料（仕入）価格」（+52→+61）や「賃金」（+71→+42）といったコスト高への懸念が強く、「経常利益」（+1→+4）は若干の改善にとどまる見通し（**図表4、5**）。

非製造業では、販売価格（+31→+34）の上昇に加え、「販売数量」（+2→+16）の増加に伴い「売上額」（+12→+30）が伸長するとみられる。一方、損益面では製造業同様、「原材料（仕入）価格」（+68→+75）と「賃金」（+69→+45）の上昇が予想されるが、「経常利益」（△5→+2）は小幅ながら改善に転じる見込み。

図表4 2024年7～12月の項目別B.S.I.



図表5 主要な項目別B.S.I.の推移



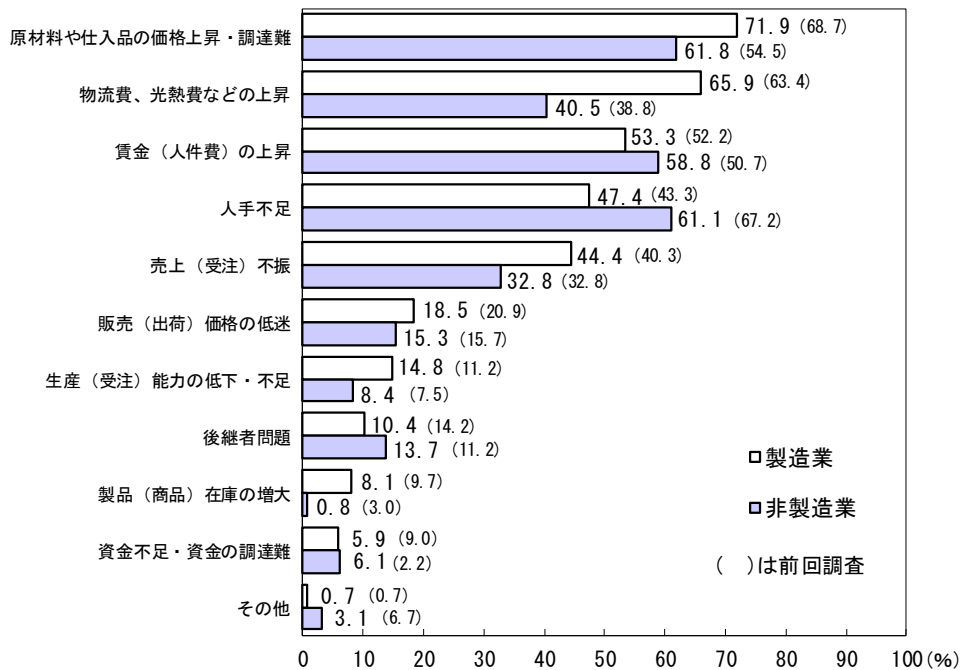
経営上の問題点

□製造業・非製造業ともにコスト全般の高止まりが課題

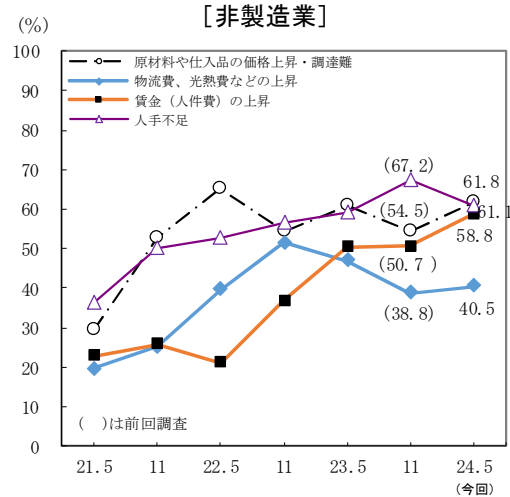
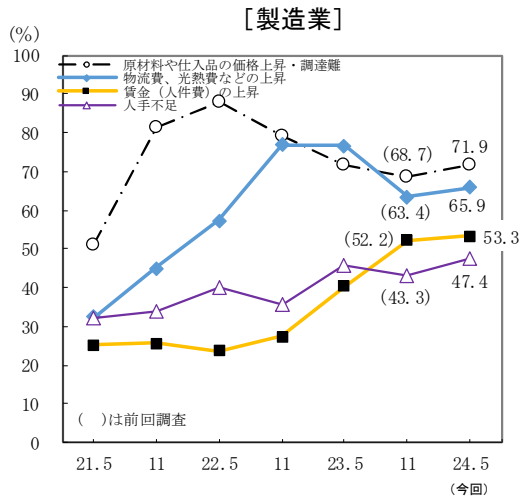
企業経営上の問題点としては、製造業では「原材料や仕入品の価格上昇・調達難」(71.9%)や「物流費、光熱費などの上昇」(65.9%)、「賃金(人件費)の上昇」(53.3%)の回答が多かった(図表6、図表7)。これらはいずれも回答割合が前回から上昇しており、コスト負担の増加が深刻化していることがみてとれる。

非製造業でも同様に、「原材料や仕入品の価格上昇・調達難」(61.8%)が最も多いほか、「人手不足」(61.1%)、「賃金(人件費)の上昇」(58.8%)が上位に挙がっており、雇用面を問題視する企業が多かった。

図表6 現在の企業経営上の問題点(複数回答)



図表7 主要な企業経営上の問題点の推移

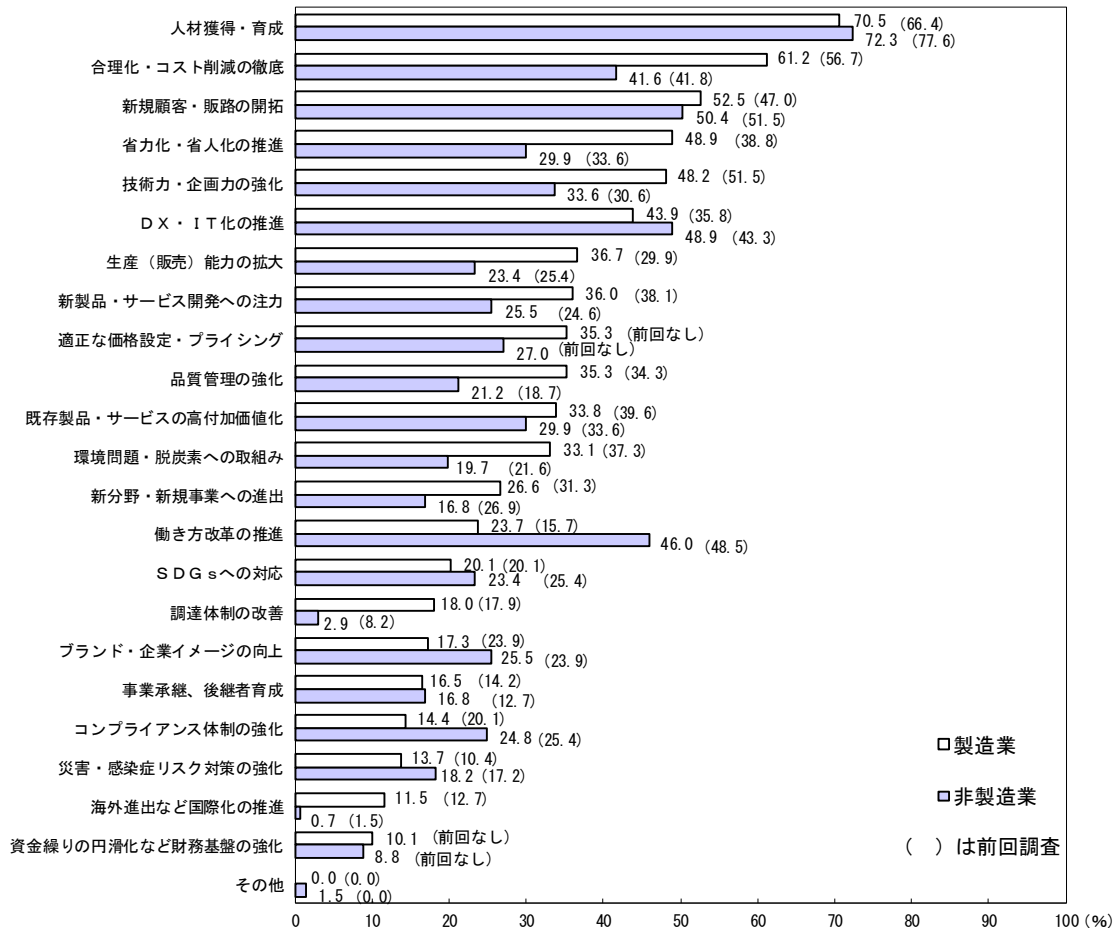


今後重視する経営戦略

□人材の確保・育成や経営合理化を重視

今後重視する経営戦略としては、前回調査に引き続き「人材獲得・育成」が製造業70.5%、非製造業72.3%と、ともに最多だった（図表8）。自由回答では具体的な取組みとして「若手人材の確保」、「営業担当者の能力向上」といった意見が聞かれた。製造業では、次いで「合理化・コスト削減の徹底」が61.2%と多く、経営合理化によりコスト高への対応を図る企業が目立つ。一方、非製造業では「新規顧客・販路の開拓」（50.4%）のほか、「DX・IT化の推進」（48.9%）、「働き方改革の推進」（46.0%）との回答が多く、営業力の強化に加えて、業務効率化や労働環境の整備により、人材難に対応しようとする姿勢が鮮明となっている。

図表8 今後重視する経営戦略（複数回答）



以上、静岡県内企業経営者による2024年下期の景気見通しは、3期連続で改善基調を維持した。コロナの5類移行から1年が経過し、観光産業を中心に需要の回復が期待される一方、円安を背景とした原材料価格の高止まりや人材不足の問題が業種を問わず深刻化している。今後は、人材育成の強化や業務の効率化を通じて、経営体質を強化することが求められる（武内 友里恵）

付表 2024年7～12月の業界景気、自社の見通し（B. S. I.）

項目 (B. S. I.) 区分	(業 前界 回景 〜気)	(業 今界 回景 〜気)	売 上 額	価 販 売 額 (出 荷 格)	販 売 数 量	受 注 額	生 産 量	(原 仕 入 材 価 格 料)	在 製 品 庫 庫 数 (商 品)	賃 金	雇 用 者 数	設 備 投 資	借 金 融 入 関	経 常 利 益
	全産業(282)	2	11	30	34	17	23	16	67	30	44	18	25	△ 1
製造業(139)	3	8	31	35	17	23	15	61	21	42	22	31	△ 1	4
食料品(21)	6	19	43	28	14	16	25	43	50	14	23	42	10	9
木材・木製品(7)	△ 22	△ 15	14	15	0	0	△ 15	57	0	57	14	0	△ 29	0
パルプ・紙・紙加工品(17)	△ 13	12	71	59	41	29	17	76	0	29	12	53	27	11
化学・ゴム製品(8)	0	12	62	37	62	62	75	75	37	75	38	37	12	13
窯業・土石製品(6)	17	△ 20	0	40	△ 40	△ 20	△ 60	80	20	40	0	40	0	0
鉄鋼・非鉄金属(10)	△ 25	△ 10	0	50	△ 10	0	△ 10	60	△ 10	50	10	10	0	0
金属製品(9)	60	11	56	67	0	45	11	78	11	56	22	33	11	11
一般機械器具(12)	27	25	33	8	17	17	8	83	25	83	34	33	△ 9	17
電気機械器具(8)	33	12	△ 13	38	0	13	0	25	25	12	38	50	△ 12	△ 13
輸送用機械器具(26)	△ 22	19	31	36	36	40	31	58	26	42	16	23	△ 4	0
その他の製造業(15)	6	△ 20	0	6	7	13	7	60	20	33	33	14	△ 27	△ 13
非製造業(143)	1	13	30	34	16	23	20	75	39	45	14	19	△ 1	2
建設業(28)	3	10	25	24	13	25	13	81	30	39	8	3	0	4
卸売業(31)	0	16	42	35	12	14	18	73	55	33	19	10	△ 7	0
小売業(19)	△ 8	△ 6	6	35	△ 16	7	7	65	17	50	△ 11	22	△ 18	△ 22
運輸・通信業(20)	10	29	53	60	57	53	33	93	46	59	38	28	17	33
ガス業(4)	0	△ 75	△ 25	△ 25	△ 25	△ 50	△ 25	△ 25	△ 25	75	0	50	0	△ 50
ホテル・旅館業(6)	△ 20	50	67	67	33	75	75	60	75	40	33	50	0	50
サービス業その他(35)	0	18	24	29	25	25	28	84	40	48	12	24	4	△ 6
規模														
大企業(26)	8	△ 5	9	36	14	0	17	59	0	52	4	48	9	△ 8
中小企業(256)	1	12	32	34	17	24	17	68	32	42	19	23	△ 2	3
地域														
東部(76)	3	19	41	38	26	31	17	73	27	44	17	34	5	7
中部(109)	7	12	27	40	10	18	15	64	23	40	9	20	1	1
西部(97)	△ 3	3	26	25	17	22	18	67	38	46	29	24	△ 8	1

※区分の横の () 内の数字は回答数